

生物多様性農業のすすめ 田んぼの生きもの調査ガイドンス

●今、地球温暖化と生物の大量絶滅という人類の生存さえ脅かすほどの激しい環境の劣化の中で、何か策を企てなければと、世界各地で、さまざまな取り組みが行われているが、食糧を得るための環境破壊と環境を破壊することによる食糧難という悪循環は続いている。この悪循環を断ち切り、人類を飢餓から救い、地球環境を守るために、技術立国である日本の洗練された農業技術に期待が集まっている。

●日本の風土と共に育ってきた伝統的な稲作技術は、食糧生産による環境負荷が少なく、むしろ田んぼという生態系豊かな水域をつくり出すことによって、お米の生産と共に、たくさんの生きものを育むことができている。この優れた農業技術は、今年10月に名古屋で開催される生物多様性条約の国際会議で取り上げられ、「田んぼは世界を救う！」ということで世界に広がっていくことになる。

●これを受けて、小松島市でも、生物多様性農業推進協議会が設立され、行政とJAと農業者がいっしょになって、自然環境と共生する農業・生きものを育む農業を広め、環境保全と農業の振興をすすめていくことになった。カエルが鳴き、ホタルが舞い、ツバメやトンボが飛び交うという生きものにぎわいのある田園風景を取り戻すことが、豊かな地域づくりになる。その取り組みを、農地を守る農業者の手で、ぜひ進めていきたい。

●講師：岩渕成紀氏

(NPO法人生物多様性農業支援センター副理事・NPO法人田んぼ代表)

●1日目 座学

「生物多様性農業とは何か？」

- ・日時：3月21日（日）午後3時～6時
- ・場所：JA東とくしま坂野支所
- ・参加費：無料

●2日目 圃場実習

「田んぼの生きもの調査」

- ・日時：3月22日（月）午前9時～2時
- ・集合場所：檜渕バイパスの南の田んぼ
暮越池の近く・青い旗が目印
- ・参加費：1000円（要：申し込み）
〈資料代・昼食代として〉

- 主催：徳島有機農業推進協議会
- 共催：小松島市生物多様性農業推進協議会

●お問い合わせ・申し込み

徳島有機農業推進協議会

電話：090-1174-4832

担当：中村まで

メール：01nakamurat@shizenha.co.jp



3月2日(火)の
徳島新聞より

有機農業普及や
環境保全を推進

小松島市が協議会設立

小松島市は1日、有機農業の普及や生物が生息できる環境を保全、整備する「市生物多様性農業推進協議会」(会長・稲田米昭市長)を設立した。

市教委であった設立総会には、市や県、JA東とくしまの職員、市内の農家ら計26人が出席。協議会内に、田んぼの生き物調査や認証制度を検討する計四つの部会を設置

し、併せて規約と会計処理規定を定めた。

2010年度は、有機

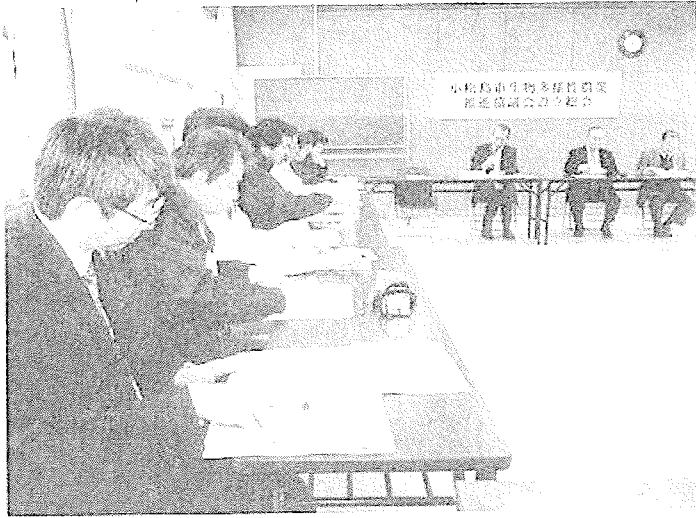
農産物をブランド化させる認証制度の検討や、会員農家が実際に有機肥料のミックスふん土を使った

米作りを行う。ほかに、田んぼの生物調査や稲刈り後の田んぼに水を張ったり、水路を新設するなどしたりして生物の

生息環境を整える。総会、部会とも年に1回ずつ開く予定。

市は、10月に名古屋で生物多様性を保全する協議会の設立総会＝小松島市教委

で開かれる生物多様性条約の第10回締約国会議(COP10)に合わせ、協議会を設立した。失われつつある生物多様性を守っていくため、協議会を設立した。



1日目：会場
JA東とくしま板野支所
3月21日(日) 午後3時～

エネオスの
ガソリンスタンド

県道218号

県道273号

坂野
小学校

至：和田島

県道274号

コンビニ
サックス

会場の住所
小松島市坂野町字種井19-1

至：徳島市

国道55号

至：阿南市